

編さんの窓

(5)

今から二百五十九年前の享保八年、飯柳の百姓四人がキリシタンの疑いで捕えられ、また二百十七年前の明和二年にも三人が捕えられ、新発田の牢へ入れられて取調を受けたことが、吉田東伍博士の「大日本地名辞書」の「飯柳」の項に書かれています。

江戸時代に
はキリシタン

飯柳に隠れキリシタン?

たものと思わ

吉田博士の

が禁じられ、それをおした者には死罪や家財没収などの徹底的な弾圧が加えられました。このように宗門改めの厳しい時代に、どうして飯柳の地に、どういふ経路でキリシタンが入ってきたのか、郷土史のうえからも興味深い問題とされてきました。

そこでさきごろ、潜伏キリシタンの家といわれた飯柳の斎藤七郎さんに、先祖からの言い伝えを聞いてみました。

新発田の託明寺の略縁起によると、斎藤別当実盛が享永二年(一一八三、加州篠原で戦死した後、その二男が出家して祐玄房と名乗り、親鸞上人の弟子となりました。この祐玄房かその子孫が託明寺を建て、約三百年の後、溝口家の菩提寺となったそうです。そして溝口家

号を家宝にし、あまり人目につかない部屋に安置しておいたそうですが、名号に絵を託して拝んでいるのではないかと疑われたふしもあり、またお寺でもないのにお参りの人があることなどから隠れキリシタンに疑われたのではないかと、という事です。

しかし、捕えられた人たちは一人も死罪にならず、家財も没収されなかったようです。これには檀那寺であり、本家である託明寺の申しひらきがあつて許されたものと思わ

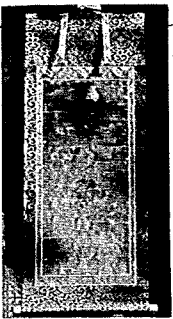
が加賀国大聖寺から新発田へ移封の際、随従して現地に來住したとあります。このとき二人の兄弟(三人ともいわれている)があり、一人は法燈を継ぎ、一人(兄の方ともいわれている)は護如上人筆の「歸命盡十方无导光如来」と、親鸞上人直筆

記述には、捕えられた一人は医者となり、これは、斎藤家では託明寺に伝わる漢方薬の秘伝を心得ており、病気の人のためにこの薬を分け与えたことがあつたので、医者と呼ばれたのではないかと、ということです。

* * *

昔から伝わっている話も

市史編さんの大事な資料になります。伝説、おとぎ話など、どんなものでも結構です。ぜひお聞かせください。市史編さん室の電話番号は4局五五九九番です。



親鸞直筆と伝えられる「南無阿彌陀佛」

斎藤家では、この二幅の御名



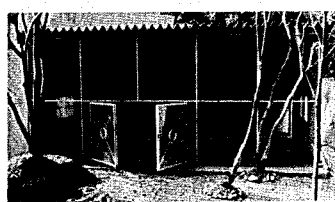
古川光三郎さん

古川さんに 藍綬褒賞

古川さんは、通産省の統計調査事務に従事され、三十年間にわたって工業統計調査員をつとめられています。今回の受賞は、その功績が認められたものです。なお受賞式は十一月二十四日、東京で行われます。

孔雀舎が完成 無事引越しを終えました

さきごろ、秋葉公園の孔雀広場に孔雀舎が完成し、孔雀の引越しが行われました。新しい孔雀舎は鉄骨造りで、六十平方メートルの広さがあり、総工事費は五百万円でした。また来年度は、孔雀広場(千六百平方メートル)を四割余



新しく完成した孔雀舎(下)と孔雀の引越し(上)

この孔雀舎は都立井の頭自然文化園のご好意で譲ってもらったものです。当初十四羽の孔雀も、その後、五羽が生まれ、現在十九羽(オス十一羽、メス八羽)に増えました。秋葉公園の新名所、孔雀広場へお出かけください。

お買物、ご用命は市内で

護身と長寿若返りの妙技

小学四年以上の男女百歳でも少々体の不自由な方でも大丈夫
勇気と自信と健康を求められよ
週1回くらいが最適 水・金夜7時~9時まで 日曜日午後2時~4時まで

八光流柔術震道場

新津市結(バス停前) 道場 古善 4-0470
自宅連絡所 食堂 2-1058
五泉道場 緑町(市原工場内) 2-0536

